

村づくりに関する意識調査の集計結果

村では現在、平成27年度からスタートする「第5次東秩父村総合振興計画後期基本計画」および「東秩父村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業を進めています。策定にあたり、村づくりの現状に関する意識や評価、今後の村づくりに対する意向等を把握し、計画に反映させるために、「村づくりに関する意識調査」を実施しました。その結果がまとまりましたので、主な内容を皆さまにお知らせします。

なお、調査にご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。詳細な集計結果については、役場総務課にお問合せください。

☆実施概要

□調査期間	7月15日(水) ～8月10日(月)
□調査対象	平成27年4月1日現在15歳以上の村民2848人
□調査方法	郵便配布、郵送、手渡し回収
□有効回答数・率	1419人 49.8%

ポイント①

《主な回答結果》

40歳以上の過半数、15～39歳も4割以上が今後も村へ定住意向

今後の東秩父村への定住意向についての設問には、「今の場所に住み続けたい」の回答が40～64歳の年代で、6割以上、65歳以上の年代で8割以上、15～39歳の年代でも4割以上となっています。一方、15～39歳の年代については、「東秩父村以外の地域に移りたい」の回答が45%以上と、最も回答の多い項目となっています。

40歳未満の若い年代についても、一定数の定住意向があることが読み取れます。

○15歳～39歳の年代 上位2つ
・東秩父村以外の地域に移りたい 116人(45.3%)
・今の場所に住み続けたい 111人(43.4%)

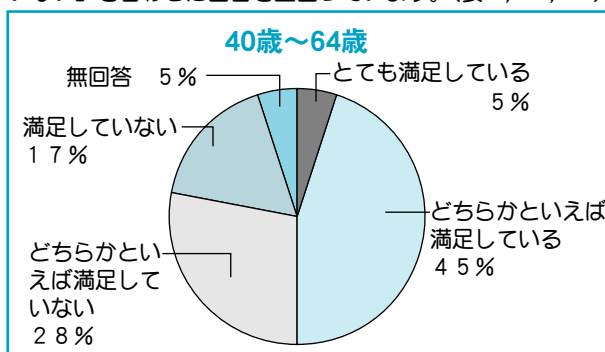
○40歳～64歳の年代 上位2つ
・今の場所に住み続けたい 396人(64.7%)
・東秩父村以外の地域に移りたい 148人(24.2%)

○64歳以上の年代 上位2つ
・今の場所に住み続けたい 471人(85.5%)
・東秩父村以外の地域に移りたい 39人(7.1%)

ポイント②

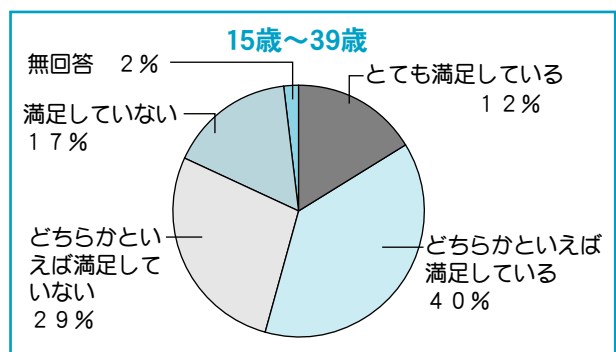
村の生活満足度は比較的高い。改善点は年代によって異なる

今後の東秩父村への生活満足度についての設問には、15～39歳、40～64歳、65歳以上の全年代で「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた回答が「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせた回答を上回っています。(表1, 2, 3)

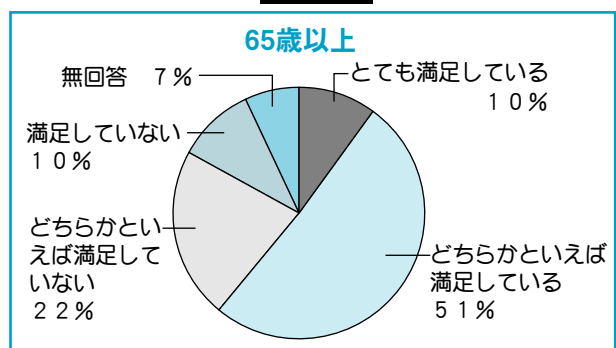


▲表2

住み続ける上での改善についての設問には、「日常生活の利便性(買物など)」は、全年代で改善のニーズが高いものがある一方、15～39歳の年代の「通勤や通学の利便性」「働く場所の数」の項目や、40～64歳および65歳以上の年代の「医療機関の利便性」の項目のように、年代によって特に回答の多いものがあります。



▲表1



▲表3